

DG Value News

第40期のご報告

2020年1月1日～2020年12月31日



株主の皆さまへ

企業理念

ミッション

デジタル技術の活用で、
より豊かな社会を実現する

スローガン

創造の喜びを世界にひろめよう
BIGGESTよりBESTになろう
共感を呼ぶ企業にしよう



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さまおよび関係者の皆さまには、謹んでお見舞い申し上げます。

当社グループでは、2016年より5か年の中期経営計画を策定し、高付加価値市場の創出に取り組んでまいりました。最終年度となる当期は、新型コロナウイルス感染症の拡大により事業活動が大きく制限される中、次期中期経営計画を見据えた準備期間として、コロナ禍における新需要を取り込むとともに、オンラインを活用した顧客サポートに切り替えるなど、スピード感を持って変革に取り組みました。

2021年からスタートする3か年の中期経営計画では、「筋肉質な企業体質への変革」と「事業ポートフォリオの転換」により持続的成長への基盤づくりに注力してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

田部 耕平

「創造・BEST・共感」のもと、持続的成長を図ることができる 企業体質への変革に取り組んでまいります。

前中期経営計画総括

前中期経営計画では、「イノベーションによる持続的成長」を目標に2016年から5か年の中期経営計画に取り組んでまいりました。しかしながら、策定当初の想定以上に経営環境、事業環境は厳しく、一定の成果はありながらも業績計画は大幅に未達となりました。これまでの反省のもと、2021年から3か年の中期経営計画では、当社グループのスローガン「創造・BEST・共感」に立ち返り、持続的成長を図ることができる企業体質への変革を目指してまいります。

中期経営計画基本方針

筋肉質な企業体質への変革

事業ポートフォリオの転換

筋肉質な企業体質への変革

事業成長の基盤づくりとして、筋肉質な企業体質に生まれ変わる

競争力の強化と事業環境の変化に柔軟に対応するべく、構造改革に取り組みます。本社において早期希望退職者の募集を実施し、人員の適正化を図るとともに、国内外における経費削減や生産拠点の集約などの構造改革を実行し、約20億円の固定費削減を目指します。また、社内プロセスを徹底的に見直し、業務の効率化と品質の両立を図ることで、事業成長の基盤を固めてまいります。

国内外における経費削減や生産拠点の集約により、約20億円の固定費削減を目指す

固定費削減
目標
約20億円

生産：製造拠点の集約

本社：人員適正化、経費削減

海外販売子会社：地域別再編、経費削減

- 量産機能のタイへの完全移管
- 国内工場のマザーファクトリー化
- サプライチェーン機能のタイ移管
- 早期希望退職者募集
- 継続的な経費削減
- 各地域単位での組織再編・効率化
- オンライン・リモートを活用した販売費用の見直し

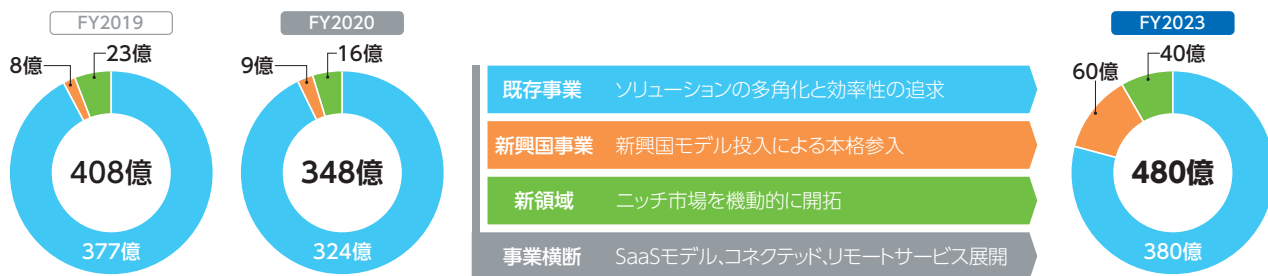
事業ポートフォリオの転換

当社の強みを活かしながら、事業ポートフォリオの転換を図る

DP事業、DGSHAPE事業ともに、既存事業においては効率化を図りながら、「新興国事業」、「新領域」へ注力してまいります。新興国事業、新領域の売上高は2020年では合計で25億円を占めていますが、2023年には100億円を目標とし、サイン(屋外看板)市場に依存した売上構造から脱却することで、新たな成長ステージを目指します。

新興国と新領域で売上高100億円を目指す

売上高(円) ■ 既存事業 ■ 新興国事業 ■ 新領域



● 既存事業

DP事業では、当社が主力としているサイン市場の成熟化と大手企業の参入により、価格競争が激化しています。さらに、環境配慮の観点から、非低溶剤インクへと切り替えが進むことが予想され、当社においても低溶剤インクから環境に配慮した他インクへの技術の転換を進めることで既存顧客への付加価値提供を強化し、顧客基盤を一層強固なものとしていきます。また、生産拠点の集約や製品ポートフォリオの見直し、プラットフォーム開発による効率の追求により、厳しい市場環境の中でも収益性を維持するとともに、新興国事業および新領域の開拓に向けリソースを創出します。

DGSHAPE事業では、新たなデジタル化の領域として、デンチャー(入れ歯)とインプラント用支台の製作を提案してまいります。また、歯科技工所から歯科医院へと対象市場の拡大にチャレンジいたします。新型コロナウイルスの感染防止の観点から、1回の通院で治療が完了する「One-Visit通院」の実現のため、海外を中心に歯科クリニックでは歯の被せ物製作の内製化が進んでいます。顧客ニーズに対応した提案により、歯科クリニック市場の開拓を進めてまいります。

● 新興国事業

今後の市場拡大が見込まれる新興国市場への本格参入を目指します。新興国向けに機能と価格を作り込んだ専用モデルの開発が急務であり、外部パートナーとの協業やタイ工場への生産移管などを通じて実現してまいります。DP事業、DGSHAPE事業ともに競合環境に適合した戦略により、売上およびシェア拡大を図ってまいります。

● 新領域

新領域では、リテイル(小売業)市場への展開やCo-Creation活動で開拓したパーソナライズ・ニーズの発掘を加速してまいります。当社が得意とする印刷プロセスのデジタル化を提案することで、ニッチ市場を機動的に開拓してまいります。

DP事業では、主に欧州を中心に特定用途向け製品のCo-Creationの専門組織を立ち上げ、2020年には6億円の売上を生み出しました。この活動をグローバルに展開することで、2023年には30億円を目指します。

DGSHAPE事業においては、医療現場の安全安心を担保する、手術器具の使用履歴の追跡管理や病院経営の効率化に繋がる在庫管理システムなどを提供するソリューションの提案により、医療・ヘルスケア分野の事業化を目指します。

■ コネクテッドサービスにより新たな価値を提案

事業横断の新たな取り組みとして、2021年よりソフトウェアを活用したコネクテッドサービスをスタートさせます。ユーザーと繋がることで、製品の不具合の未然防止、業務状況の可視化支援、作業工程の自動化による効率化を図ります。将来的には、ユーザー同士が繋がるプラットフォームを構築し、新たな事業機会の提供を目指します。DGSHAPE事業では2018年よりコネクテッドサービスを開始し、すでに約3,000件のユーザーと繋がっています。これまで培った経験とノウハウをDP事業にも展開できる準備が整いました。コネクテッドサービスを通じたユーザーの業務効率化とビジネス支援により、顧客ロイヤリティの向上を図ります。

■ 財務戦略および業績計画

収益性の最大化を図るとともに、在庫削減などを通じたCCC(キャッシュ・コンバージョン・サイクル)*を改善することで、キャッシュ創出力を高めていきます。キャッシュは成長領域へと配分するとともに、M&Aやアライアンスを含めた“+α”の成長投資へと活用します。

	2020年12期(実績)	2023年12期(最終年度計画)
売上高	347億円	480億円
営業利益	5億円	60億円
営業利益率	1.4%	12.5%
ROE	1.0%	15.0%
ROIC	0.6%	15.0%
CCC	141日	120日
為替レート	USD	106.83円
	EUR	121.86円

*CCC…仕入れから販売にともなう現金回収までの日数。資金効率の指標。

■ 株主還元

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題と位置付け、持続的な成長と企業価値向上に向けた投資やリスクに備えるための財務健全性ととのバランスを考慮した上で、業績を勘案しながら安定した配当の維持に努めてまいります。

具体的な基本方針としましては、連結利益に対する配当性向30%もしくは株主資本配当率(DOE)2%以上の両基準で算出した数値のいずれか高い金額を基準に、安定した配当を継続的に実施することを目標として、今後の事業展開を総合的に勘案の上、決定したいと考えております。

決算ハイライト

■ 決算ハイライト

当期における世界経済は、3月以降、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により急速に悪化しました。経済活動の再開後は景気を持ち直しの動きが見られましたが、9月以降、感染が再拡大したことで欧州を中心に経済活動を制限する施策が再度強化されるなど、不透明な状況が続きました。当社グループにおいても事業活動が大きく制限されたため、SNSやウェブサイト、ウェビナーを通じた情報発信や、AR（拡張現実）技術を用いたリモートによるテクニカルサポートなど、オンラインを活用したセールスプロモーション、サービスサポートの強化に努めました。

これらの結果、サイン市場向けプリンターおよびインク、ならびにデンタル加工機の販売が減少したことに加えて、為替の円高によるマイナス影響があったことで、減収となりました。費用面では、経費抑制により販売費及び一般管理費は前期を下回りましたが、売上高に対する比率は前期から上昇し、減益となりました。なお、欧州販売子会社において関税の還付による特別利益を計上したことで、黒字を確保しました。

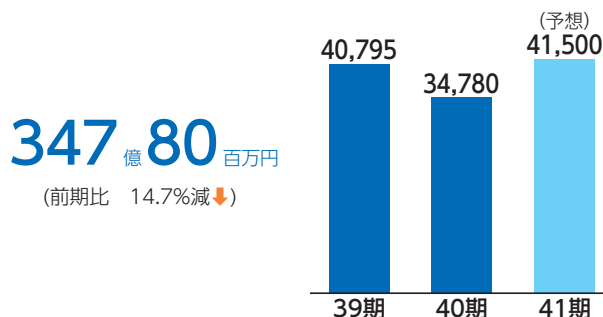
(主要為替レート：106.83円/米ドル、121.86円/ユーロ)

■ 連結業績予想

新型コロナウイルスの影響で減退した設備投資需要の回復が進み、売上高は増収となる見通しです。利益面では、増収効果に加えて、固定費削減を図るべく、製造拠点のタイ工場への集約や早期希望退職者の募集による人員削減などの構造改革を行うことで、増益となる見通しです。なお、早期希望退職者募集の実施にて発生する10億円を特別損失として織り込んでおります。

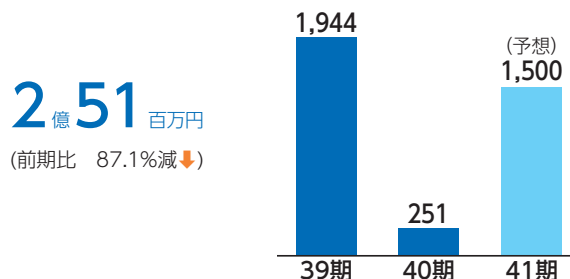
売上高

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



第41期通期 連結業績予想

	第41期通期 連結業績予想	前期比
売上高	415億円	19.3%増↑
営業利益	29億円	479.8%増↑
経常利益	29億円	586.0%増↑
親会社株主に帰属する当期純利益	15億円	497.3%増↑
ROE	6.1%	5.1ポイント増↑

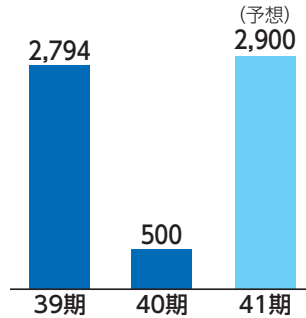
想定為替レート：100.00円/米ドル、125.00円/ユーロ

営業利益

(単位：百万円)

5.00 億 百万円

(前期比 82.1%減↓)

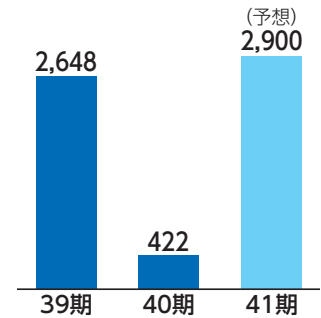


経常利益

(単位：百万円)

4.22 億 百万円

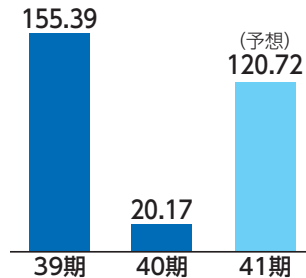
(前期比 84.0%減↓)



1株当たり当期純利益

(単位：円)

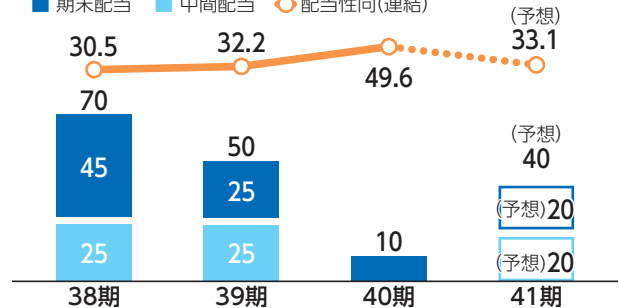
20.17 円



1株当たり配当金／配当性向(連結)

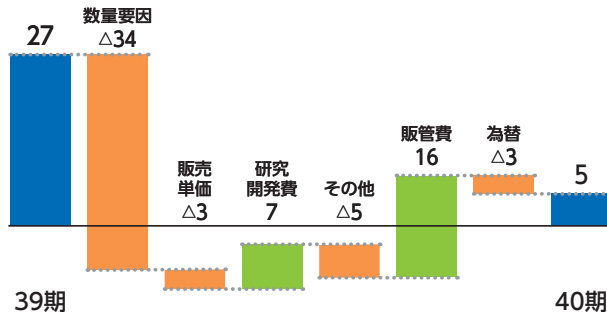
(単位：円／%)

■ 期末配当 ■ 中間配当 ○ 配当性向(連結)



営業利益の変動要因(前期比)

(単位：億円)



IRサイトのご案内 | www.rolanddg.com/ja/investors/

決算に関する詳細情報は、
当社ホームページにてご覧いただけます。

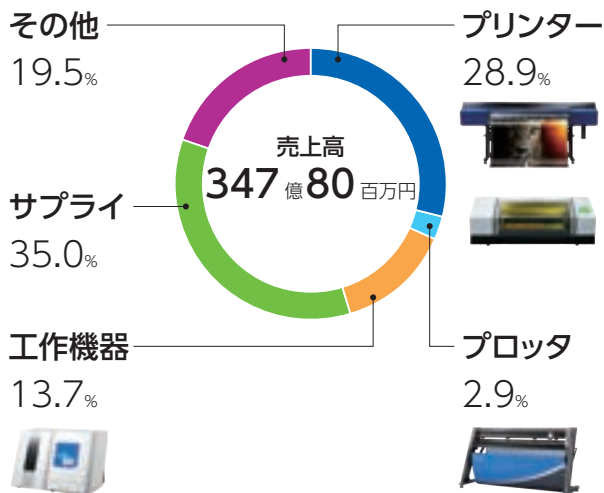
ローランド ディー.ジー. IR

検索



事業の概況(品目別)

売上高構成比



プリンター



新型コロナウイルスの影響により、サイン市場では急速に出力需要が落ち込みました。一方、当社のプリント&カット機能とオンデマンド印刷の強みを活かせる用途として、新型コロナウイルスの感染対策ステッカーやソーシャルディスタンスの確保を促すフロアサインなどの出力需要が拡大し、販売の下支えとなりました。また、インハウスやスモールビジネスの需要が高まり、プリント&カット機能を搭載した卓上型インクジェットプリンターの



WLM Design様(オランダ)

販売が前期と比べて増加しました。リテイル市場では、経済活動の再開以降もノベルティやギフトの需要回復の動きは鈍く、UVプリンターの販売が前期と比べて大きく減少しました。



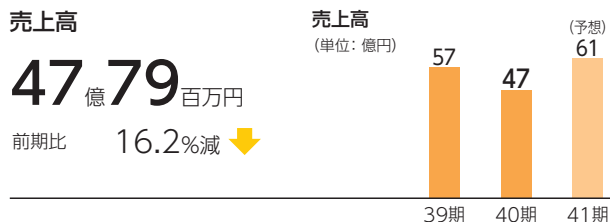
プロッタ



オフィスや店舗で簡単にステッカーの作成を可能にした低価格なカッティングマシンSTIKA(ステカ)シリーズの販売が増加しましたが、サイン市場向けの大型カッティングマシンの販売が減少しました。



工作機器



新型コロナウイルスの影響により、3Dものづくり市場では、顧客の設備投資需要が減退し、3次元切削加工機や彫刻機の販売が減少しました。デンタル市場では、歯科クリニックの営業が制限された影響で設備投資需要が減退しました。経済活動の

再開後も、感染拡大が続く地域においては、治療人数を制限するなど、低稼働の状態が続いたことから、工作機器の売上高は前期を下回りました。



サプライ



第3四半期以降は、経済活動の再開により顧客の設備稼働率の回復にともないインクの販売が回復に向かいましたが、第2四半期会計期間(4~6月)の減少幅が大きいことから、サプライの売上高は前期を下回りました。



その他



リモートによるサービスサポートなど、顧客サポートの充実により保守・メンテナンスの販売は前期並みを維持しましたが、製品の稼働率が低下したことからサービスパーツの販売が減少し、その他の売上高は前期を下回りました。

トピックス

TrueVISシリーズのTR2インクが 米国PRINTING United Allianceの 「プロダクト・オブ・ザ・イヤー」を 2年連続で受賞

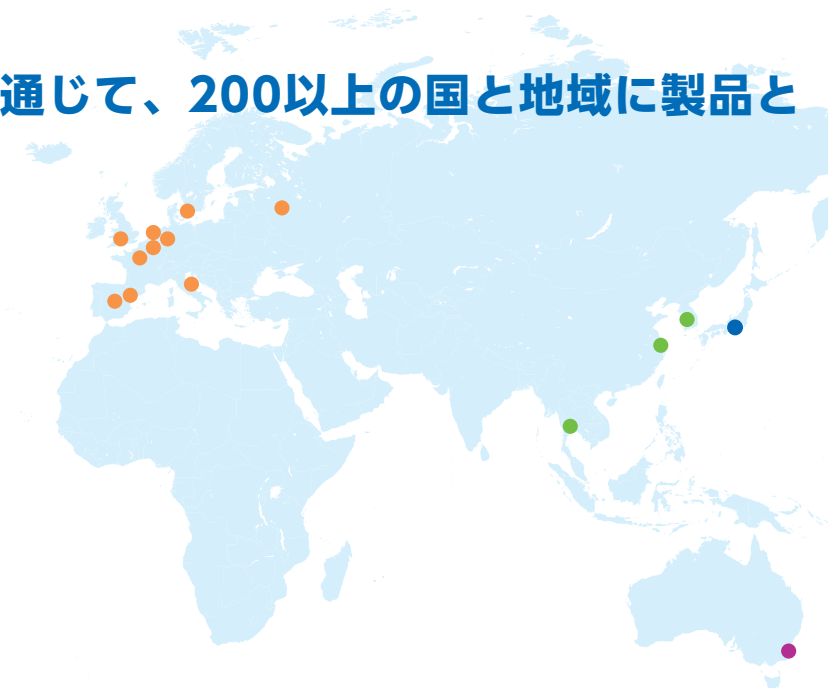
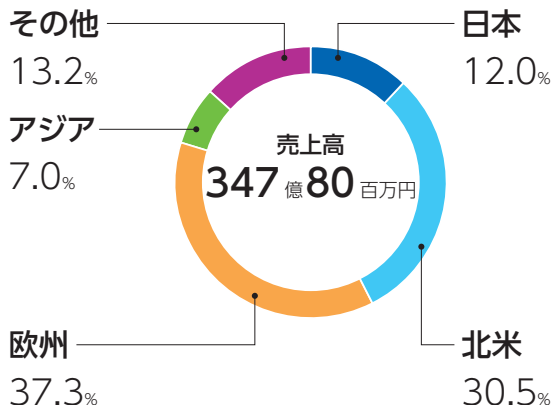


当社の大判インクジェットプリンターTrueVIS (トゥルービズ) シリーズの専用インク「TR2インク」が、米国のデジタル印刷やスクリーン印刷に関連する企業を支援する業界団体PRINTING United Alliance (旧SGIA) が毎年、業界の発展に貢献した優れた製品や技術を表彰する「プロダクト・オブ・ザ・イヤー」を2年連続で受賞いたしました。TR2インクは、昨年6月、基本色に新色グリーンを加え、計10色をラインナップしたことで、TrueVISシリーズの表現力の幅と奥行きがさらに広がりました。

当社では、これからもユニークで創造的な製品やソリューションを通じて、お客さまのビジネスに新しい価値を提供することで、デジタルプリンティング業界の発展に貢献してまいります。

グローバルネットワークを通じて、200以上の国と地域に製品と

売上高構成比



日本



新型コロナウイルスの影響により各種イベントが中止となり、出力需要が急速に減退したことで、主にサイン市場向けおよびリテール市場向けプリンター、インクを中心とするサプライの販売が減少しました。工作機器では、昨年9月の保険適用範囲の拡大により、デンタル加工機の販売が前期を上回りました。しかしながら、設備投資需要の減退により工作機器の販売は前期に比べ減少しました。

北米

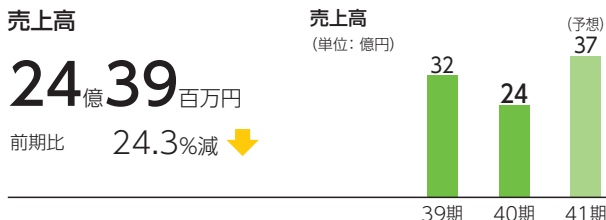


新型コロナウイルスの感染拡大の影響は受けたものの、デンタル市場においては、2月に積極的なセールスプロモーションを展開したことに加え、経済活動の再開以降もオンラインを活用した営業活動へリソースを集中したことが奏功し、デンタル加工機の販売は前期を上回りました。また、プリンターでは、インハウスやスモールビジネスにおいて需要が高まりましたが、デジタルプリンティング市場全体としては顧客の出力需要が大きく減退したため、販売が減少しました。

サービスを提供しています



アジア



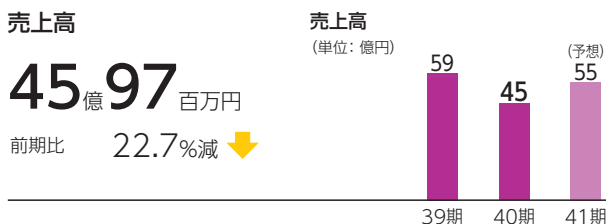
新型コロナウイルスの感染拡大により、2月上旬から大きな影響を受けました。中国では、新規に設定した販売代理店による販売増加もあり、デンタル加工機の販売が前期並みとなりましたが、サイン市場向けプリンターとサービスパーツの販売が大きく減少しました。韓国では、サイン市場向けプリンターとデンタル加工機の販売が、ASEAN地域では、サービスパーツの販売が大きく減少しました。

欧州



売上構成比が大きいイタリアやスペインを中心に新型コロナウイルスの感染拡大の影響が顕著で、第2四半期会計期間(4月～6月)の販売が大きく落ち込みました。夏以降、停滞していた経済活動が再開し、設備稼働が回復に向かったものの、第3四半期以降の感染の再拡大でロックダウンが再開した地域では販売が伸び悩みました。プリンターでは、サイン市場向けプリンターと低溶剤インクの販売が、工作機器では、3次元切削加工機とデンタル加工機の販売が低迷しました。

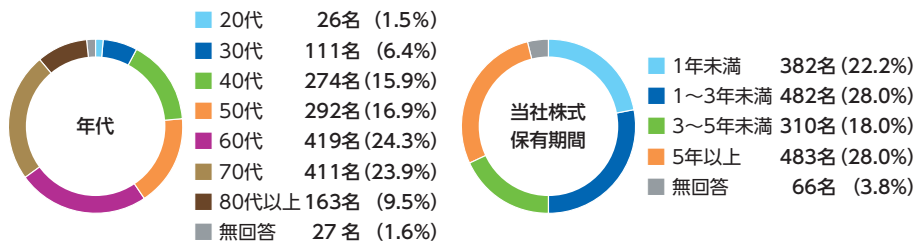
その他



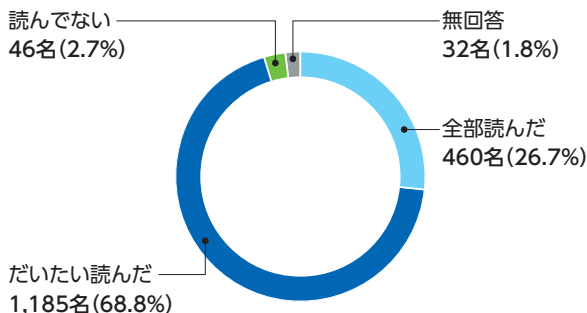
オーストラリアでは、デンタル加工機とサービスパーツの販売が前期並みとなりましたが、サイン市場向けプリンターの販売が大きく減少しました。ブラジルでは、サイン市場向けプリンターの販売が微減に留まったものの、円高の影響により、前期から大きく減収となりました。アフリカ地域では、サイン市場向けプリンターとインクの販売が減少しました。

株主さまアンケート集計結果

第40期中間DG Value Newsにて実施させていただきました「株主さまアンケート」では、1,723名(8.5%)の株主さまにご回答をお寄せいただき、心よりお礼申し上げます。ここにアンケート結果の一部をご紹介します。

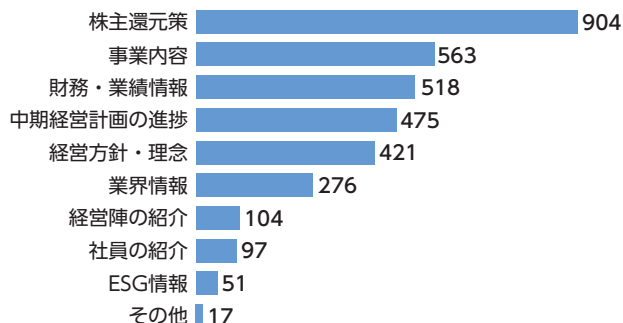


Q 本誌をお読みにになりましたか？



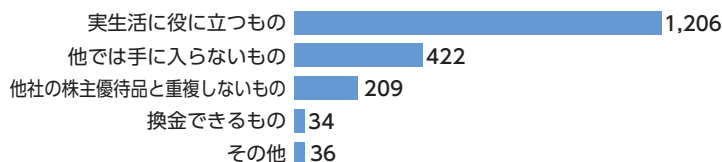
Q 当社に関してもっとお知りになりたい情報をお聞かせください(複数回答可)

(単位: 名)



Q 当社株主優待品を選ぶ際、どのような基準で選びますか？

(単位: 名)



その他

- ローランドならではのもの
- 御社の製品およびサービスを体感できるもの
- 自分では買わないもの
- 図書カード、クオカードなど
- 浜松名物
- 社会貢献

いただいた貴重なご意見・ご要望については、今後の経営やIR活動に活かしてまいります。



株主さま

株主さまアンケートにお寄せいただいたご質問・ご要望にお答えいたします。



大株主のタイヨウファンドから、どのような助言が出ているか、教えてください。



社外取締役のブライアン・K・ヘイウッド氏は、15年以上にわたり友好的な株主として当社の経営を支援してまいりました。同氏は、2020年3月に当社取締役役に就任以降、取締役会において、株主の目線から経営に対する指導・アドバイスをしております。今後も継続的な事業成長と企業価値の最大化という共通目的のもと、建設的な意見交換を続けてまいります。



業績回復に向けて、コストダウンを進めてもらいたい。



中期経営計画では、持続的な成長に向けた基盤づくりとして企業体質の変革に取り組みます。その一環として、2021年度は、「生産拠点のタイ工場への集約」と「早期希望退職者の募集」を実施いたします。現在、国内およびタイの二拠点で展開する生産機能を、タイ工場へと集約することでものづくりの効率性向上と価格競争力の強化を図ります。また、早期希望退職の実施により、人員をスリム化し、固定費の削減を図ります。これら構造改革を通じてコスト競争力を高め、グローバル競争を勝ち抜く収益性を確保してまいります。

株主優待のお知らせ

株主の皆さまからの日ごろのご支援に感謝するとともに、当社への理解を一層深めていただくことを目的に、株主優待制度を設けております。

また、長期間保有いただくことを目的に、株主優待制度を見直し、保有株式数と保有年数の条件を設定させていただきました。2020年度につきましては、経過措置として継続保有期間の条件は適用せず、100株以上300株未満保有の株主さまを対象に3,000円相当の、300株以上保有の株主さまに5,000円相当の株主優待カタログを3月10日より発送しております。株主優待カタログに記載の有効期限をご確認いただき、お早目にお申込みください。

株主優待に関する
お問い合わせ先

フリーダイヤル  0120-528-336
営業時間 9:00～17:00 土・日・祝を除く



100株以上300株未満保有の株主様向けカタログ



300株以上保有の株主様向けカタログ

コロナ禍における製品活用事例



コロナ禍において、
当社製品が活躍している事例をご紹介します。



これらの事例は当社ホームページにて紹介しておりますので、ぜひ、ご覧ください。

<https://www.rolanddg.com/ja/blog>

Case
1

オリジナルマスク



スペインの専門学校Colegio Hogar様のグラフィックアート部門では、テキスタイルプリンターを活用し、50種類以上のデザインのマスクを製作。マスクが不足している地元の病院、老人ホーム、警察などに大人用マスク4万枚、子ども用マスク1,500枚、フェイスシールド1万5,500枚を寄付しました。



Case
2

防護服用ネームラベル



イギリスのサイン業者Elite Signs様は、医療現場で働くスタッフが防護服を着用すると個人の見分けがつかなくなることから、プリント&カット機能搭載のインクジェットプリンターを使用し、ネームラベルを製作。病院では防護服を1日数回着替えているため、大量のネームラベルが必要となっておりますが、オンデマンドに対応しています。



Case
3

アマビエの オリジナルキーホルダー



熊本県のデザイン事務所ネストグラフィックス様は、多様な素材に印刷ができるUVプリンターを活用し、疫病退散の妖怪アマビエのキーホルダーを製作。キーホルダーはコロナショックで客足が減った地元の飲食店などへ原価で提供し、販売した収益をお店の売上にしてもらうことで、支援を行っています。



Case
4

感染対策看板



カナダのサインショップPrintology Digital様は、8色インク搭載のインクジェットプリンターを活用し、新型コロナウイルス感染予防を啓発する看板を製作。看板を地域のスモールビジネスに非営利目的で提供することで、コロナ禍における市民の安全を守る手助けをしています。



■ 会社概要

商号	ローランド ディー.ジー.株式会社
設立	1981年5月1日
資本金	3,668,700,000円
主な事業内容	コンピュータ周辺機器の製造販売
従業員数	1,220人(連結)

■ 役員一覧 (2021年3月18日現在)

取締役社長 ^{*1}	田部耕平
取締役	上井敏治
取締役	エリー・キースメーカー
社外取締役 ^{*2}	廣瀬卓生
社外取締役 ^{*2}	細窪政
社外取締役 ^{*2}	岡田直子
社外取締役	ブライアン・K・ヘイウッド
常勤監査役	鈴木正康
常勤監査役	長木直樹
社外監査役 ^{*2}	松田茂樹
社外監査役 ^{*2}	本田光宏

※1 代表取締役です。
 ※2 (株)東京証券取引所が定める独立役員です。

■ 会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

■ 事業所

本社	浜松市北区新都田一丁目6番4号
都田事業所	浜松市北区新都田一丁目1番3号
営業所	東京、名古屋、大阪、福岡
サポートセンター	札幌、仙台、広島

■ 連結子会社

- Roland DGA Corporation (アメリカ)
- Roland DG Benelux N.V. (ベルギー)
- Roland DG (U.K.) Ltd. (イギリス)
- Roland Digital Group Iberia, S.L. (スペイン)
- Roland DG Mid Europe S.r.l. (イタリア)
- Roland DG North Europe A/S (デンマーク)
- Roland DG Australia Pty. Ltd. (オーストラリア)
- Roland DG (China) Corporation (中国)
- Roland DG Korea Inc. (韓国)
- Roland DG Brasil Ltd. (ブラジル)
- Roland DG EMEA, S.L. (スペイン)
- Roland Digital Group (Thailand) Ltd. (タイ)
- Roland DG Deutschland GmbH (ドイツ)
- Roland DG Europe Holdings B.V. (オランダ)
- Roland DG RUS LLC (ロシア)
- DGSHAPE株式会社 (日本)
- Roland DG France SAS (フランス)

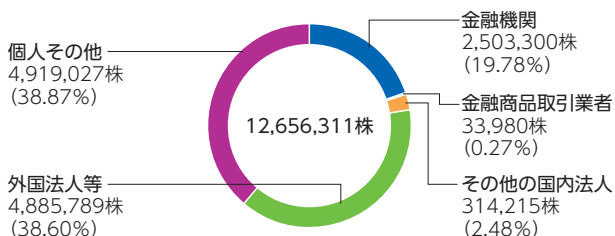
■ 株式の状況

発行可能株式総数	71,200,000株
発行済株式の総数	12,656,311株
株主数	23,027人

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
TAIYO HANEI FUND, L.P.	891,700	7.05
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505227	852,400	6.74
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	630,300	4.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	594,500	4.70
TAIYO FUND, L.P.	439,300	3.47
BNYMSANV AS AGENT/CLIENTS LUX UCITS NON TREATY 1	407,300	3.22
富岡 昌弘	326,900	2.58
ローランド ディー.ジー.社員持株会	291,365	2.30
GOVERNMENT OF NORWAY	234,020	1.85
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	192,300	1.52

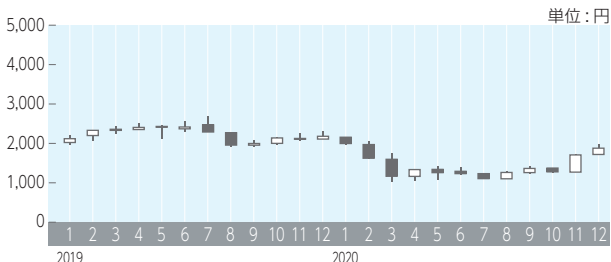
※持株比率は発行済株式の総数から自己株式数 307 株を除いた数に基づき算出しております。
 ※持株比率の計算上、役員向け株式給付信託および従業員向けインセンティブ・プラン株式給付型ESOPの信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託口)が所有している当社株式230,200株を含めて計算しております。

■ 所有数別状況



※自己株式307株は「個人その他」、証券保管振替機構名義株式8,500株は「その他の国内法人」に含まれています。
 ※記載比率は、小数点第2位未満を四捨五入して表示しています。

■ 株価の推移



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日
定時株主総会開催時期	3月中
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 12月31日 期末配当 12月31日 中間配当 6月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告します。
公告方法	当社の公告は電子公告とし、インターネットホームページに掲載します。 www.rolanddg.com/ja/investors/ ※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) [受付時間 9:00~17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)] ホームページ www.tr.mufg.jp/daikou/
本誌に関する お問い合わせ先	IRユニット TEL 053-484-1400

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IRサイトのご案内

当社 IR サイトがホームページランキング調査で入賞しました。

今後もコンテンツや機能を拡充し、積極的に情報開示を行ってまいります。



最新IRイベント

直近の決算発表日や個人投資家向けのIRイベントへの出展など、IRに関する最新情報をお知らせしています。

個人投資家の皆様へ

「事業内容」や「業績」などの基本情報のほか、「当社の強み」や「当社製品の活用事例」などをわかりやすく紹介しています。

IRメール配信

メールアドレスをご登録いただいた方には、ニュースレターや決算情報などの最新情報をメールにてお知らせしています。

www.rolanddg.com/ja/investors/

ローランド ディー.ジー. IR

検索



マルチデバイスへの対応

当社の IR 情報をスマートフォンやタブレットからも閲覧いただくことができます。上記 URL に直接アクセスしてご利用いただけます。

